



概要

RSSI Monitor は314.950MHz+/-200kHzの帯域での電界強度（RSSIレベル）を測定することができます。

主な用途として、当社の微弱無線モジュールを導入するに当たり、運用環境でのノイズ測定、受信機を組み込む機器の発生するノイズ測定、受信機の適切な設置場所など電波やノイズの強さを定量的にモニターすることができます。また、A01シリーズ送信機を動作させて電波の強さをモニターすることもできます。

電源スイッチ；

電源スイッチを押すと電源LED（右端）が点灯し、RSSIレベルに応じてL1からL8のLEDが点灯します。

電源を切るときは電源スイッチをしばらく押してから離します。

RSSIレベル表示；

RSSIレベルの表示は左端L1からL8の8個のLEDで表示します。記載しているRSSIレベルはアンテナ給電点におけるSG信号レベルとなっており、アンテナのキャリブレーションファクターを考慮していないので、レベル表示は相対値として扱ってください。

LED#：アンテナ給電点でのSGレベル

L1：≥ -118 dBm

L2：≥ -113 dBm

L3：≥ -108 dBm

L4：≥ -100 dBm

L5：≥ -90 dBm

L6：≥ -80 dBm

L7：≥ -70 dBm

L8：≥ -60 dBm

電池

単4電池2本

電源を入れても電源LEDが点灯しない時は、フロントカバーを外して電池交換を行います。フロントカバーの外し方は、ネジなどは使用していないので、底面の凹みに爪を入れフロントカバーを引き上げると簡単に外すことができます。

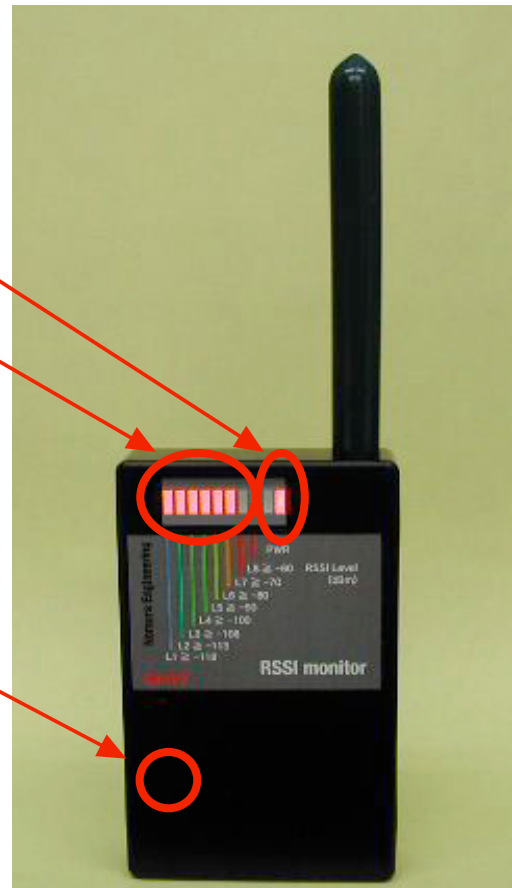
注意

電池は単4電池2本を極性を間違えないように取り付けして下さい。

電源

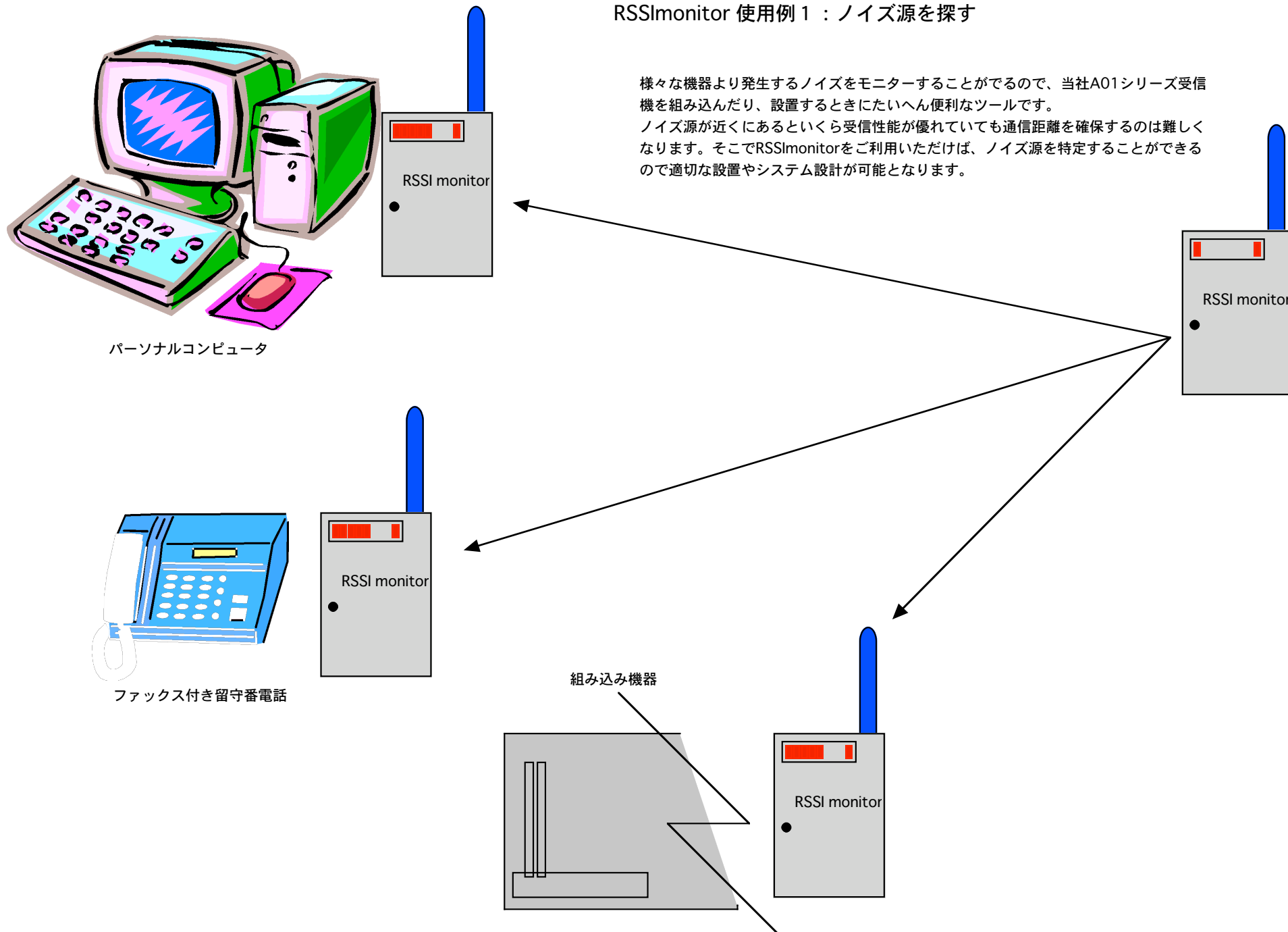
RSSIレベル表示

電源スイッチ



## RSSImonitor 使用例 1 : ノイズ源を探す

様々な機器より発生するノイズをモニターすることができるので、当社A01シリーズ受信機を組み込んだり、設置するときにたいへん便利なツールです。  
ノイズ源が近くにあるといくら受信性能が優れていても通信距離を確保するのは難しくなります。そこでRSSImonitorをご利用いただければ、ノイズ源を特定することができるので適切な設置やシステム設計が可能となります。



## RSSImonitor 使用例 2 : 受信機の適切な設置

